



びえいフーズ農作物情報

2015年5月号

北海道美瑛地区は、今のところ農作業全般に順調に進んでいます。播種作業は終盤にさしかかっています。地区によっては、やや干ばつ気味のところもあり、発芽のための降雨がほしいところ。今回は、作物ごとの畝の作り方の違いを見ていただきます。



いんげんの圃場。比較的浅い畝が等間隔に並ぶ。
(右)土を掘ると、豆から発芽している。



(左)スイートコーン。いんげんよりも畝の間隔が広い。早い圃場では、芽が出てきている。
(右)にんじん。特徴的な4条畝。



(左)馬鈴薯。水はけを良くするための深い畝。芽が出始めている。
(右)グリーンアスパラの収穫。1本ずつ手作業。今年は生鮮向けの2Lサイズが多く、工場加工原料のS、Mサイズが極端に少ない。
(2015.5.28撮影)